

編集 日本うたごえ実行委員会
 発行 うたごえ新聞社
 東京都新宿区西大久保3の67
 電話 (20) 0101-5
 振替番号 東京5631

1部25円
 (一部読者は年共6か月510円)

うたごえ新聞

主な記事

一面 ベトナム中央歌謡団を以て座談会。ベトナム中央歌謡団送会。楽譜「一人の手」

二面 中央合唱団が関東、信越で公演。合唱発表会小編成部門について

三面 新しい段階を迎えつつある日本のうたごえ運動の発展。全国交流会における記念講演(井上頼雄)。(4) 初舞台が四十人にもなった「文京新婦人合唱団(東京)」

四方面 うたごえを統一の力に。沖繩・あかつきの大合唱に参加。第九次沖繩派遣日本のうたごえ代表団。楽譜「橋をたぐったのはおれだ」

五面 ほくろの疑問「なぜもっと建設的な歌をうたわれないのか」

沖繩を返せ！安保条約ごちやぶるごう！ あかつきの年の活動開始



千三百名が参加した東京・あかつきの大合唱(景信山)

昨年を大幅に上回る千二百人が

東京・景信山

今年五回目を迎えた東京の「あかつきの大合唱」は、例年のように、神奈川県との境にある景信山頂で初日の出を合図にひらかれましたが、参加者は昨年を大いに上まわ千二百人で、力強い「沖繩を返せ」のうたごえを、70年安保条約の闘いを前に、一日も早く沖繩の祖国復帰をのぞきの決意を示しました。

「あかつきの大合唱」は、東京のうたごえ協議会と日本民主青年同盟東京都委員会の主催、東京青年学生代表者会議の後援でもなれました。元旦の午前零時に京浜線の高尾山の駅前を出発、若々しい高校生の一団を先頭に初詣客でにぎわう高尾山の山頂に、みちみち「沖繩を返せ」「あかつきの空に」など、元気なうたごえをひびかせながら小仏峠を通る尾根を縦走して景信山に登りました。

日の出と同時に「沖繩を返せ」の大合唱。東う協の塚野さん、民



吹雪について富士での第3回あかつきの大合唱

青年委員文化部長の司会で会をすめました。民青中央委員会の今井副委員長のあいさつ、沖繩青年合唱団からのメッセージ紹介、上京中の沖繩高校生の涙ながらに訴えた現地報告は、安保と核基地でとりかまされ、生命の危険にさらされている沖繩をなまなく感じさせました。

第九次沖繩派遣日本のうたごえ代表団からの祝詞のひょう、三天選挙に活躍したうたごえ代表の報告のあと、「あかつきの空に」「地底のうた」「返せ沖繩」「五・六軍」「一坪たりともわたすまい」「がはらう」を力い。はいうたごえ、今年の活動の奮闘をちかひ合いました。

団結もちつきで 模範店もでる 生駒山頂(大阪・奈良) 【大阪のうたごえ発】久しぶり

にスモッグのない大阪の夜空はずみわたり、こ生駒山頂からさながら星をまきちらしたような大阪の町のながめを下に、一日午前二

時 大阪・奈良合同あかつきの大合唱に九百人の仲間が勢揃いしました。

吹きまき寒風の中で「ワイヤー」をたぎ、「河内音頭」を力い。はい踊りまわし、ついでに団結もちつきを女性を先頭につき固め、その間模範店では関東、甘酒、酒屋……ワイワイカヤカヤと大にぎわい。夜が明けると九百人の仲間が朝日を全身に浴びて、七〇年への決意をこめて「あかつきの空に」「返せ沖繩」などをうたいまわし、最後に、「一九七〇年を祖国を安保の鎖からとぎ放す年にするため今すぐ準備を」とアピールを採択しました。

びわ湖にむかって ひびかすうたごえ 滋賀・豊子ヶ丘公園

【滋賀・豊吹合唱団発】第二回滋賀あかつきの大合唱は十二月三十一日夜十一時四十分から、聖子ヶ丘公園でひらかれ約八十人が参加しました。主催したのは滋賀青年代、豊吹合唱団などあかつきの大合唱実行委員会。

まず「沖繩を返せ」「一坪たりとも渡すまい」などをうたったあと、「沖繩返還」「安保放棄」の決議を採択。夜明けまでうたごえ交流、もちつき大会などを楽しみました。一日朝七時十五分ごろ、鈴鹿の山なみからツクリと朝日がのぼります。びわ湖は黄金色の鏡。みんなは寒さもふきとほして高らかにうたごえをひびかせました。

吹雪について 富山・雄山神社川原

【富山のうたごえ発】富山の第三回あかつきの大合唱は、大雪注意報が発令された吹雪の中で、元旦、午前時半、立山町雄山神社川原に約三百五十名が集まり成功しました。

このあかつきの大合唱は富山県うたごえ協議会と、富山地区青年

学生代表者会議がよびかけて開催したもので、県内の各職場や地域から集まった仲間は、あかつきともえあがる「ワイヤーストーム」のまわりを、いく重にもスクラムでかみ、横なりの吹雪にもまげず「沖繩を返せ」「あかつきの空に」「心はいつも夜明けだ」などの力強い全員合唱からはじまり、ついでにフォークダンスや参加団体の飛び入り出演による合唱で、ともに新年の決意をうたいあげました。

最後に「富山のあかつきの大合唱アピール」を採択したのち、沖繩を返せ、安保条約ごちやぶるうたごえのシュプレヒコールをとりかえ、午前四時すぎ終了しました。

塩尻市長から もメッセージ

【松本・合唱団やまなみ上嶋通信員】松本の第一回あかつきの大合唱は、十二月三十一日午後十一時半から一月一日午前二時までの間、返せ沖繩一九六九年を日本の夜明けに、を中心スローカーンとして行なわれました。

松本市を昇下せる小高い丘にある城山公園に集まった仲間たちは百三、三十人。雪のふる中をみる若い仲間たちの輪がひろがっていきまふ。歌指導のあかつき沖繩の二高校生による、沖繩の表情の報告。また、塩尻市の高砂市長からのメッセージが朗読され、スローカーンも確認されました。

みんな頭から肩から雪で真っ白。しかし、そんなものなんのその、ファイアーを閉んで次から次へととび出すうたごえ。民青の仲間、労青、労連の仲間、高校生、うたごえの仲間など、炎にうつつし出された仲間たちの顔は、みんな生きいきと輝き、声を限りのシュプレヒコールは、よの確信を与えてくれました。

また、この日、うたごえ新聞の拡大・宣伝もおこなわれました。その結果、あらたに七名の仲間を統者にするこができ、いつまでもこでもうたごえをなす活動することが大切だと思われました。

諏訪湖から沖繩へ 諏訪・高浜に約百人

【諏訪・合唱団大地発】第一回諏訪のあかつきの大合唱は、一月一日の午前零時から、下諏訪の諏訪湖畔高浜でひらかれ約百人の仲間が参加しました。集まった仲間たちは、うたごえが諏訪湖から天沼川をへて太平洋、そして沖繩へ大きくひびくことを確信して、最後に沖繩を返せのシュプレヒコールを西の空にむかっておこないました。

かじかんだ手で 必死のアコ伴も

浜松・中田島海岸 浜松のあかつきの大合唱は一月一日、中田島海岸の砂丘に八十名の仲間を集めてひらかれました。東の空が明るくなるころには「あかつきの空に」「一坪たりとも渡すまい」「自由ベトナム行進曲」「沖繩を返せ」「がはらう」などが力強くうたわれました。また、この日結集した浜松労青、浜松演劇協、劇団からつぎ、浜松センター合唱団、民青の五団体が決意を表明し、「沖繩返還、安保放棄の闘いをさらにがんばらう」と、シュプレヒコールを行いました。

浜松センター合唱団からは十一名の団員と二名の研究生が参加しました。寒さのためにかじかんだ指を必死で動かしてアコ伴をつとめた四名のアコニスト。全員合唱の指揮、「あかつきの空に」の歌唱指導、うたごえ歌集、ハッパの販売など、うたごえ行動隊として大奮闘しました。(浜松センター合唱団「第23号より」)

来年はもっと 盛大に！ 大船渡・天神山公園

【うたごえ大船渡発】一月一日午前一時から三時まで、初詣でにぎわう盛町の天神山公園で、うたごえ大船渡主催ではじめてのあかつきの大合唱がひらかれました。とりこみの不十分な中で十名が参加して三十分間うたごえをうたい、そのあとフォークダンスをおこないました。

今回は期間がなかったのでサークルだけの主催に終わってしまいましたが、来年は各サークル、労組、民主団体へ呼びかけて盛大にやろうと、決意を新たにしています。